

広報あんじょう

2021

2/15

幸ケツナガ

つながる、かなえる、安城
健康(ケンサチ)のまち、安城

臨時号

ANJO

乗り越えよう この日に向けて

新型コロナウイルス感染症予防に
取り組みましょう!

～安城市民一人ひとりの協力が必要です～



神谷学市長
からの
メッセージ

幸せつながる
健康都市へ

新型コロナウイルス感染拡大の第3波により、1月13日に再び愛知県に緊急事態宣言が発出されるなど厳しい状況が続く中、多くの皆さんに感染拡大防止へのご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。大変ありがとうございます。

マスク等により感染の概況については報道されていますが、本市内の詳細情報までは伝えられていません。そこで、地域の新型コロナウイルス感染症の実状を正しく理解いただき、感染防止にお役立ていただくべく、本市が把握している情報をまとめ、広報あんじょう臨時号としてお届けす

ることとしました。

緊急事態宣言が延長され、未だコロナの収束は見通せない状況ではありますが、現在、国によるワクチン接種を円滑に進められるよう、市においてワクチン接種対策グループを結成し、医師会等と綿密な連携を図りながら準備を進めております。市民の皆さんお一人お一人の意志と行動によって、コロナ禍を乗り越えることは可能です。

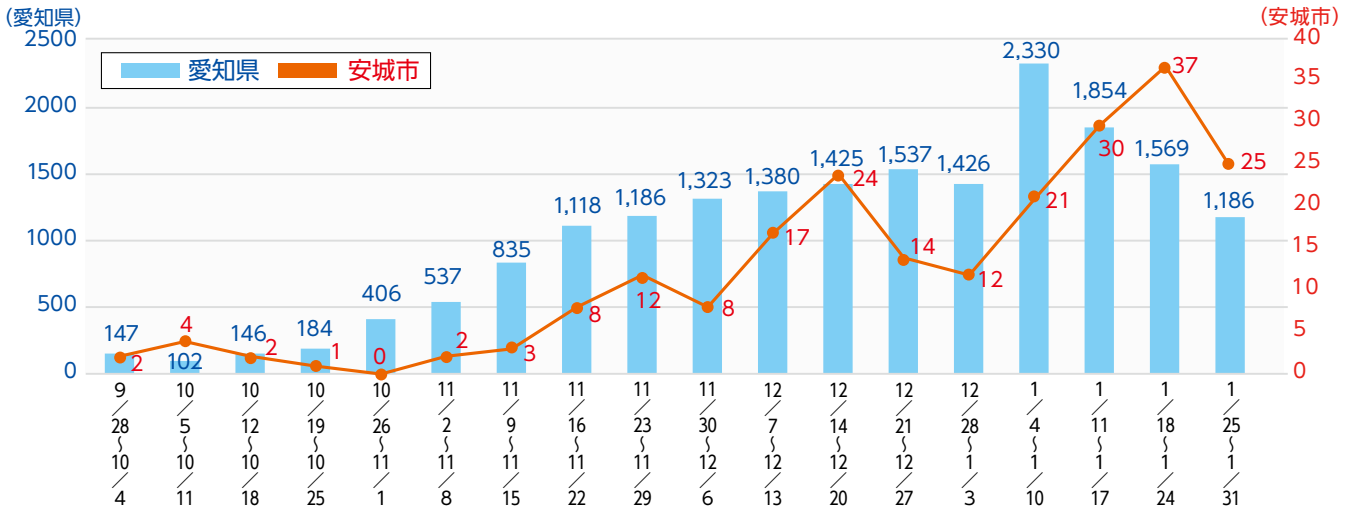
「健やかか幸せ」な時代です。引き続きの感染防止にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

安城市の感染者の状況

安城市と愛知県の状況の対比

☎ 危機管理課 (71)2220
保健センター (76)1133

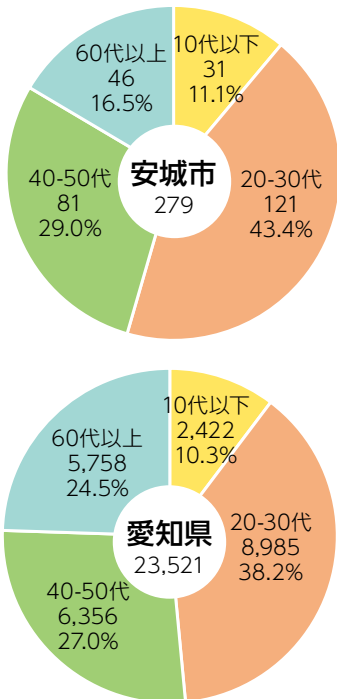
①「時期別」の感染者の推移 (昨年9月28日～1月31日時点)



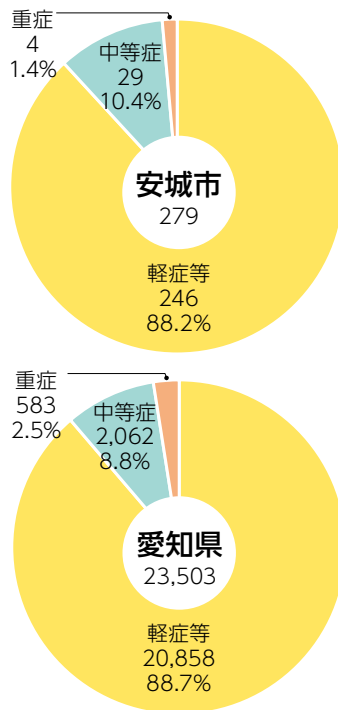
愛知県内の新型コロナウイルス感染者の第3波(昨年10月21日以降)の1月31日までの数は18,268例となっており、第1波、第2波と比べ大幅な増加となっています。本市では、昨年4月に初めての感染が確認されてから1月31日までに281例の感染が確認されており、そのうち昨年10月21日～1月31日の数が214例と、全体の76%を占めています。特に1月は著しく増加しています。

※愛知県、名古屋市及び中核市が発表する感染者数をもとに集計。第1波・第2波・第3波は県公式ウェブサイトによる区分。

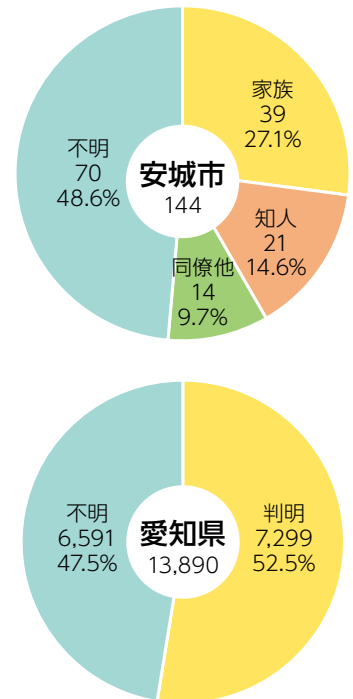
②「年代別」の内訳



③「症状別」の内訳



④「感染経路別」の内訳

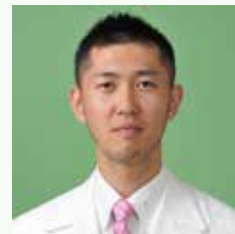


本市における感染者の年代別の内訳は、30代以下が約55%と県に比べ若干高く、60代以上は約16%と県より低くなっています。症状別の内訳は約9割が軽症等ですが、中等症・重症の患者も約1割発生しています。感染経路別の内訳は、不明が半数程度を占め、判明している中では家族が約27%と最も多く、続いて知人、同僚他となっています。症状別の内訳及び感染経路不明者の割合は、愛知県とほぼ同じ傾向となっています。

※出典：県公式ウェブサイト(②③：昨年7月1日～1月31日分の集計、④：昨年7月1日～12月22日分の集計)

感染症専門医からの メッセージ

安城更生病院
感染症内科部長
鈴木大介先生



地域の医療を取り巻く現状

新型コロナウイルスの流行が始まって1年になります。そんな中、西三河地域にも流行が拡大し、安城市の感染者数も増えています。重症の感染者も増えていますが、病院のベッドが不足してきており、今後必要な治療がすぐに受けられなくなることが危惧されます。新型コロナに限ったことではありません。それ以外の病気・怪我・交通事故の患者さんも必要な治療を受けられなくなり、助かる命が助からなくなってしまうおそれが出てくるのです。

行政や医療機関が責任を持って医療体制の再整備に取り組むのは当然ですが、**市民の皆さん一人ひとりが感染しない、感染を広げないという意識を持ち、基本に立ち返って予防策を実践していく**ことが非常に重要です。

最も気を付けるべき「飛沫感染」

感染に最も影響が大きいと考えられるのが「飛沫感染」です。感染者が咳・くしゃみをしたり、声を出したりすると、口や鼻からウイルスが混ざった“しぶき”が飛び出します。このしぶきは1～2m飛んで床に落ちますが、周囲の人がこのしぶきを吸い込むと感染します。

新型コロナウイルスが厄介なのは、無症状の感染者や、症状が出る前の感染者のしぶきの中にもウイルスが混ざっていて、気づかないうちに感染が広がることがある点です。

そのため、症状の有無にかかわらず**「自分も他人も新型コロナにかかっているもおかしくない」という心構えで対策する**必要があります。

一人ひとりができる感染防止対策を

飛沫感染を防ぐ基本は、マスクを着け、人との距離を2m以上あけることです。マスクは、自分の口・鼻からしぶきが飛び出すのを遮り、周囲の人から出たしぶきを吸い込むのを防いでくれます。

しかし「マスクを着けていれば100%感染しない」というわけではありません。マスクの隙間からしぶきが漏れることがあるためです。2m以上離れば、しぶきが漏れても相手に届きません。さらに、大声を控えて小声で話せば、しぶきの量が減ります。

食事の際は特に注意が必要です。どうしてもマスクを外す必要があり、感染の危険性が高まるからです。できるだけ家族・同居人以外との会食は控えましょう。どうしても会食する必要がある際は、できれば2m以上離れ、向かい合わず、マスクを外している時は声を出さないことを徹底しましょう。

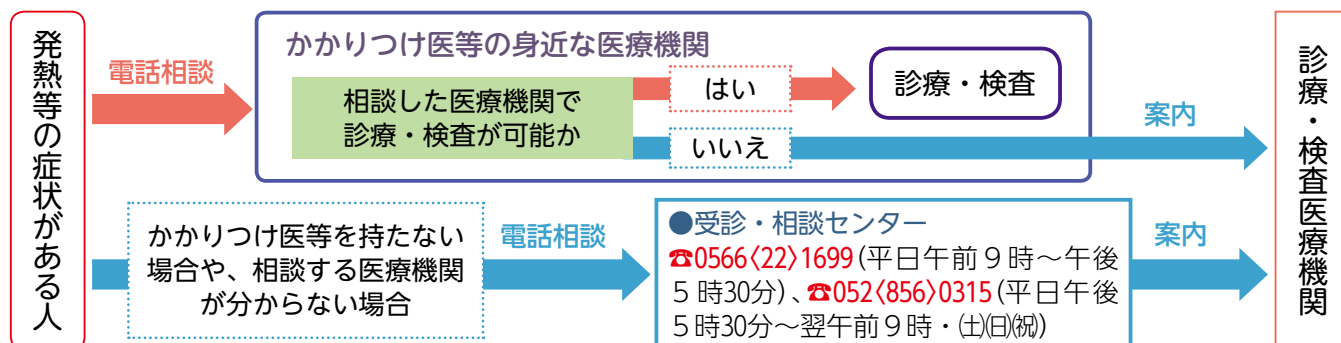
それぞれの予防策は完璧ではありませんが、**新型コロナウイルスがどのように感染するかを意識し、状況に応じて複数の予防策を組み合わせることで、効果的に感染の危険性を減らす**ことができます。

基本的な予防策の実践でコロナ克服を！

コロナの流行が収束するのは半年後なのか、1年後なのか、あるいはもっと先なのか、まだ目途は立っていません。

それでも明けない夜はありません。必ず来るその時まで、基本的な予防策を地道に実践し、**新型コロナウイルスに打ち克ちましょう！**

発熱等の症状があり、新型コロナウイルス感染が心配なときは(外来診療の流れ)



家庭での感染防止対策に引き続きご協力ください

ごみ出し・収集時の感染防止対策

自身や家族、ごみを収集・処理する作業員への感染防止のため、家庭からごみを出すときは正しく処理しましょう。

- ごみ袋はしっかりしばって封をしましょう
- ごみ袋の空気を抜いて出しましょう
- 市の分別・収集ルールを確認しましょう
- マスク等のごみのポイ捨ては絶対にやめましょう



家庭に感染者又は感染の疑いがある人がいる場合、鼻水等が付着したマスクやティッシュ等のごみを捨てる際は注意しましょう。

- ごみ箱にごみ袋をかぶせ、いっぱいになる前に早めに出しましょう
- ごみに直接触れることのないよう、しっかりしばって出しましょう
- ごみを捨てた後は、手をよく洗いましょう

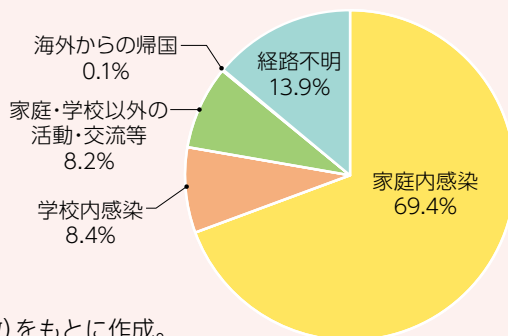


子どもの感染経路は家庭内が最多

全国の幼稚園児・小学生・中学生の新型コロナウイルス感染症の感染経路のうち、家庭内感染が多くの割合を占めています(右グラフ※)。感染拡大防止のため、家庭内でも換気や手洗い等の感染防止対策をお願いします。感染症対策チェックリスト(右記QRコード参照)もご活用ください。



※文部科学省の集計(令和2年6月1日~12月31日に報告があった件数)をもとに作成。



申告会場での感染防止対策

所得税・市県民税の申告会場は、2月中及び開場直後の時間帯は大変混雑します。今年は感染症対策のため、会場で面接時間帯を指定した番号札を配布し、待合席を例年より大幅に減らします。指定の時間になるまで、自宅や自家用車で待機をお願いします。また、会場を訪れる際は、以下の点にご協力をお願いします。

- できる限り少人数での来場
- マスクの着用
- 筆記用具の持参

※日程・会場等の詳細は本紙1月号を参照。

- 問合せ 市民税課(☎71)2214)

町内会・自治会活動での感染防止対策

◆町内会・自治会行事の実施について

市では、市主催のイベント及び会議の開催についての可否基準を定めており、町内会等が開催するイベント等についても同基準に基づく実施の判断をお願いします。特に緊急事態宣言発令時のイベント等の開催については、不安を感じている方へ配慮し、延期や中止の検討と一層の感染拡大防止に努めましょう。

◆回覧板の取扱いについて

回覧板の受け渡しは可能な限りポストに投函する等、手渡しを避けてください。

- 問合せ 市民協働課(☎71)2218)

「安城市COCOAサポート店舗」誕生！

新型コロナウイルス接触確認アプリCOCOAをダウンロードしている人は「安城市COCOAサポート店舗」で特典の提供を受けることができます。ぜひご利用ください。



参加店舗の一覧は市HP(右記QRコード参照)から確認できます。



- 問合せ 商工課(☎71)2235)

ひとり親世帯臨時特別給付金の申請は3月1日(月)まで

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、子育て負担の増加や収入が減少しているひとり親世帯の生活を支援するため、国の制度による給付金を支給しています。対象となる人は期限までに申請をしてください。対象となる要件や給付金額、申請手続きについては、市HP(右記QRコード参照)を確認するか、本紙令和2年8月号を参照してください。



- 問合せ 子育て支援課(☎71)2229)